

平成30年度「小規模事業者経営改善資金（マル経資金）」及び
「沖縄雇用・経営基盤強化資金貸付（沖経資金）」の融資実績について
～ マル経資金、過去最高126億円の実績 ～

商工会議所（4団体）・商工会（34団体）（以下、「団体」という。）が経営指導及び推薦を行った小規模事業者等（団体会員）に対し、沖縄公庫（以下、「公庫」という。）が無担保・無保証の融資を行うマル経資金及び沖経資金（ともに限度額2,000万円）の貸付実績が、合計136億円と過去最高となりました。

【小規模事業者経営改善資金（マル経資金）について】

マル経資金の貸付実績は125億80百万円となり、前年度比16億1百万円増加（14.6%増）し、過去最高となりました。エリア別では、本店エリア（西原町を含む浦添市以南）は前年度比1億92百万円増加（4.4%増）、中部エリア（宜野湾市～読谷村・うるま市）は同5億58百万円増加（16.9%増）、北部エリア（恩納村以北）は同1億9百万円増加（7.0%増）、宮古エリアは同5億26百万円増加（54.8%増）、八重山エリアは同2億16百万円増加（28.0%増）と、全てのエリアで増加となりました。

業種別では、建設業（前年度比6億10百万円/17.1%増、件数で同25件/8.1%増）、卸・小売業（同2億74百万円/11.7%増、件数で同29件/11.1%増）、運輸業（同2億16百万円/100.0%増、件数で同13件/38.2%増）等が増加しています。

資金の用途別では、運転資金が構成比で73.1%、設備資金が同26.9%と例年に比べ大きな変化はありませんが、1件当たりの貸付金額が前年度比58万円増（6.6%増）の931万円となりました。

1件当たりの貸付金額が増加した要因として、入域観光客が高い水準で推移しており、建設工事も旺盛であるなど県内経済が引き続き拡大していることが挙げられます。また、小規模事業者に対し、団体と公庫との間で融資相談会の開催等の連携強化を図り円滑な資金供給に努めたこと、団体による小規模事業者へのきめ細かな経営指導と公庫との事前相談の実施により、小規模事業者の資金需要に対し適時、適切な対応に努めたことも増加要因として挙げられます。

【沖縄雇用・経営基盤強化資金貸付（沖経資金）について】

沖経資金の貸付実績は10億24百万円となり、前年度比42百万円減（3.9%減）となりました。エリア別では、中部エリアが前年度比78百万円増加（27.5%増）、北部エリアが同39百万円増加（40.3%増）した一方で、本店エリアが同26百万円減少（6.1%減）、宮古エリアが同1億17百万円減少（77.0%減）、八重山エリアが同16百万円減少（14.0%減）となりました。

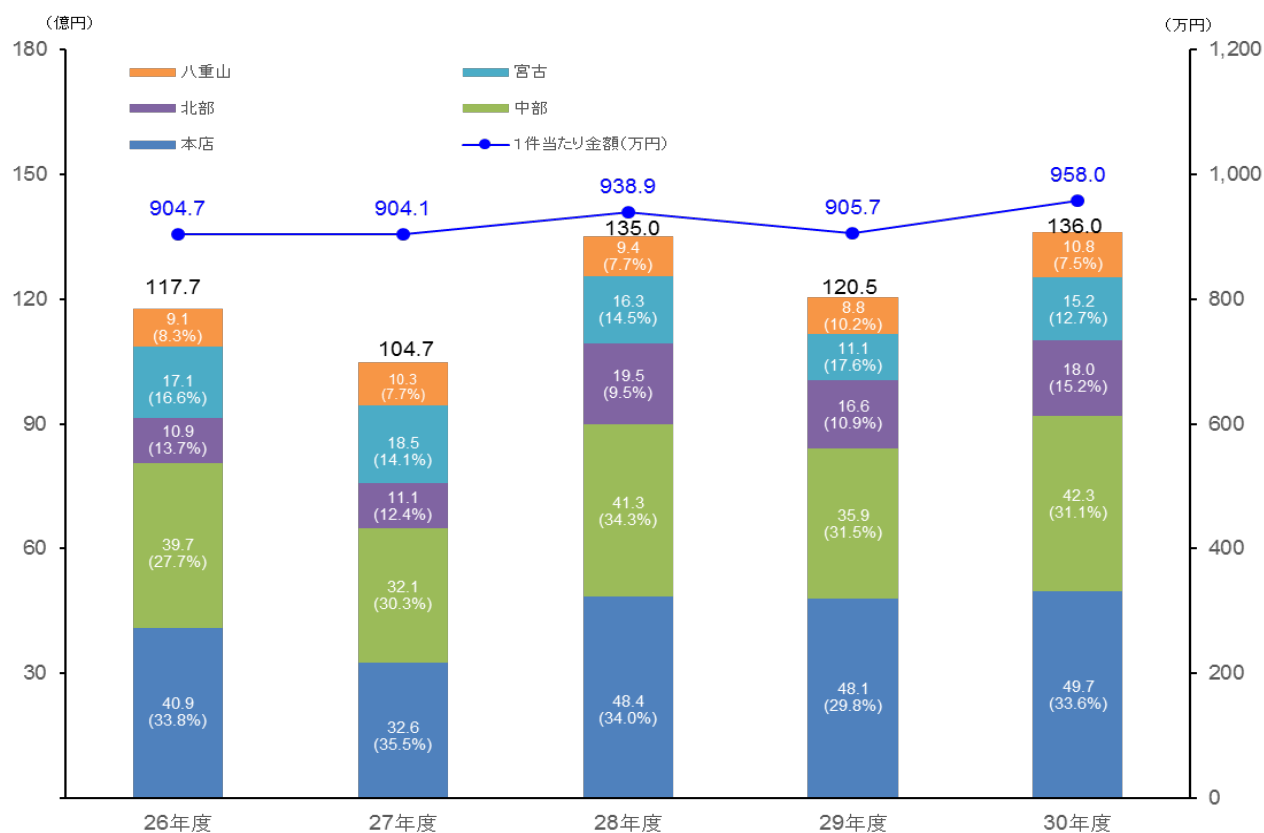
【公庫と団体の連携等について】

公庫と団体は、引き続き相互に連携し、中小企業・小規模事業者の事業の特性に応じ、担保・保証に過度に依存しないなど、良質かつ円滑な資金の供給に加え、課題等に対するソリューション提供に努めて参ります。

【マル経及び沖経資金の特徴】

団体が原則6ヵ月以上経営指導している小規模事業者等を公庫に推薦し、①無担保、②無保証、③長期、④低利、⑤固定、⑥手数料なし、⑦保証料なしで公庫が融資を行うものです。

マル経及び沖経資金の融資実績(直近5年度)



[問合せ先]

融資第二部中小企業融資第二班 (担当: 松下) TEL 098 (941) 1795
 業務統括部業務企画課 (担当: 宮城) TEL 098 (941) 1740